

岩波ブックレット

《必要》から始める仕事おこし
『協同労働』の可能性

岩波ブックレット「《必要》から始める仕事おこし」『協同労働』の可能性」をみんなが読み、広げようと、第1回読者会を日本労協新聞主催で3月17日にWebで開きました。執筆者の労協新聞松沢常夫前編集長が、ブックレットで伝えたかったことなどを話した後、『協同労働』の現場を見る」の章で紹介した仲間の中から3人が登場、実践を深めました。

ブックレットの感想

先輩たちの苦労の上に私たちが：

松沢 第3章『協

同労働』の現場を見る」で紹介した仲間の中

から3人に登場してもらいました。はじめに、ブックレットを読んでの感想から。

今井 私が一番感じ

たところは「歴史」です。「中高年雇用・福祉事業団全国協議会直轄事業団」という、本

当に何者かも分からな

いところから出発して、労働者協同組合を名乗るようになり、それが法制度にまでな

る。本当に苦労が分かる

と言つか、先輩たちがつくってきた基礎の上に私たちがいるんだ

なって感じました。

ダメ事業所やってた

今井 私は、東北復



今井 一貴さん
現在、東海事業本部
事務局長

「現場を見る」登場 の3人と語り合う

など思いました。

私たちは、ワーカーズコープって何なのか分からずに入って活動

してきたんですが、こ

子どもたちの貧困に目をそむけない

旭川児童センター、子ども食堂 今井一貴さん

松沢 3人とも、地域の困難に立ち向かう、という点で共通して

いますが、今井さんは、ワーカーズが20

15年に旭川市の児童センター6館の指定管

理者になった時、「協同労働宣言」を書きま

すね。

だから、児童センタ

ーの責任者にと言われた時、今度は、まっすぐ組織に向き合おう、

原則と向き合わなければ、と腹を決めました。

ワーカーズは協同労働で仕事おこし・まち

づくりをする協同組合

であり、「自分はこうする」と言い切ることがポイントだと思い、「協同労働宣言」を書いたんです。

新しく入ってきた仲間

に、ちょっとでもいいから、ワーカーズコープがやろうとしていること、目指している

第1回読者会

とつながり、社会連帯の活動を少しでもやる。「協同労働ってす

市民が立ち上がる

岡元 今井さん

って、北海道に戻って、急に真面目というか、

一生懸命になったよう

な印象があるんですが、給食がない夏休み

などになると、どんな

「人口減ってるからいらない」にムカツと

岩手・大槌地域福祉事業所 東梅麻奈美さん

松沢 大槌地域福祉

「ねまれや」の東梅さん

は、震災復興の取り組みの中で、地域共生

ホーム建設への協力を

要請しに役所に行く

と、「人口が減ってるのに必要なのか」と言わ

れて、「困ってる人は減

ですが、同じ思いを持

っていた市民が一気に

集まってきた、「おとな

食堂」という運動体が

できて、市民運動が活

発になると、行政も姿

勢が変わり、子ども食

堂と一緒に取り組みた

いってなっていたん

です。

岡元 子ども食堂、

おとな食堂で、地域が

変わっていったん

です。

今井 やっぱ市民

自ら立ち上がる、立ち

上げる文化が広がって

いるんじゃないかな。

子どもにとっても、家

か学童か児童館が習い

事かみたいなどころ

に、もう一つ、拠点が増えたという意味があるように思います。

んですね。

昨日も、学童利用の

子で朝ごはんを食べて

こないという子がいて、午前中から「腹減

った。腹減った」つ

て。そういう目の前の

ことに、じゃあどうし

ようか？と向き合っただけなので、難しく考

えて計画的に実践しているわけじゃないんです。

今井 当時、東梅さん

はどういう役割だった

んですか。



東梅麻奈美さん
現在、大槌地域福祉事業所所長

目の前のことに

東梅 本当に覚えて

を受けていた他は、集会所のサロンとかほぼボランティアみたいなおことをしていました。

田中羊子さん（当時、東北復興本部長）から、仕事おこしの話し合いで役場に行かなきゃって言われて、「やだなー、行きたくない」。そんなレベルです。

今井 よくやりましたね。

松沢 東梅さんは、子どもが冬休みを前にして学童に入れないとなった時、自分の子だけじゃないと言って、長期休暇中の子ども預かりサービスを始めますよね。今も、不登校の子どもの居場所「こないー会」もつくっている。困っていると聞いたら、すぐどうしようかと考える。

東梅 いろんな人が一緒にやってくれるので、本当に恵まれてます。

岡元 東梅さん、シングルでしたっけ。

東梅 今は結婚してますが、シングルの時期もありました。

岡元 おめでとございます。私もシングルでしたが、母が娘を見てくれていたので困ってなかったんです。でも、学童保育の待機児童になったお母さんから「仕事を辞めな

ければいけないかもしれない」って聞いて、えっ！学童一つでそんな風になるのって思っ

て、思わず「1人だけでもやります」って言ってしまったんです。子ども1人なら、みんなで見ればいいかなと思っ

東梅さんが「やりた い」「やる」って言ったから、仲間とか地域とかを動かすのでしょ

ね。東梅 私、子どもが4人いるんですけど、1人は発達障害があっ

て、トラブルは起こすし、家で留守番しててねっていうのもできないし。

こういうことで悩んでる人たちがいっぱいいるのに、単純に「人口が減ってるからいら

ないでしょ」といわれて、ムカツときたのを覚えています。覚えてます。

「すきま」の人を

松沢 でも、今は自治体の職員とも「同じ仲間」って感じになっ

てきてるんですよ。なんでそんなふうに。東梅 私たちのやってきたことが実績として認められたこともあ

るし、わからなくて不安だらけだった時、全部さらけ出して、「わからないから教えてくだ

さい、こうしたいんです」って言い続けたからかな。できるふりをして偽ってたら、違っ

てたでしょうね。それに、行政側が力

バーしきれない制度事業の「すきま」の人にも、ねまれやは関わってきたし、その都度、行政とも相談してきたからかなと思います。「サポートの在り方、

難しいですよ。でもどうにかできないですかね」って。

介護事業も子ども事業も、始める時は全然自信がなかったし、赤字でしたけど、制度事業だけして、制度のすきまの人を切り捨てることはしたくなかつ

たんです。たとえば、ねまれやを頼ってきた人に「介護保険の該当になりませんよ、あなたが来る

ところじゃないよ」みたいなことには絶対にしたくなかった。

学校や関係機関も同じで、学校では見えて

ない子どもの姿、本当の困り感、そんなことがあったのとかいうこ

とを共有して、みんなでサポートしていこうという姿勢から、いろんな相談がくるようになったんだと思います。思ったのです。岡元 お弁当の話

は、夏休みにお弁当を見たら野菜が少なく、冷凍食品ばかり。学童を始めた次の年はそれ

なりの補助金をいたでいたので、台所を改修して給食を作れるようにしました。

お母さんたちと話し合って、給食代をもらい、お味噌汁とご飯と

簡単なおかずという給食からスタートしたんです。

でも、子どもたちは野菜がどう育つのか理解していないようなので、知り合いの食育の

先生に絵本やぬいぐるみで一生懸命説明してもらったけど、やっぱりわからないなど思っ

たので、種をまいたり収穫したりしてみようと、菜の花から始めました。

ほのぼのでは、3羽の鶏を飼っていたので

すが（今は、大きな鶏小屋がある）、子どもが可愛がって餌をやっていたので、何気なく、

「これ、昨日食べた唐揚げと同じ鶏なんだけど」って言ったら、「違う」って。「これ、つぶして唐揚げにして食べようかな」と言ったら、「いやあ〜」って走って逃げましたんです。それで、地元のおじ

ちゃんたちの協力もい

ただいて、この3羽をさばいて食べる取り組みをしました。

松沢 いろんな体験を重ねられるようにする、すごいですね。

岡元 鹿児島県にはワーカーズの事業所が8つあるんですが、ほ

のぼのは、始良事業所（生協物流）のヘルパー講座から始まったんです。さくらんぼとは

姉妹店、鹿屋のゆらお

うは、奄美がじゅまるにいた人が立ち上げたんです。だから、各事業所が「親子」「親戚」のような関係でつながっているんです。

東梅 どんどん動いていくって本当にすごいですねえ。私、本当は何もしたくない人なので（笑）。困っている人がいなくなれば役割はなくなるかも。それが理想です。4月から現場が一つ増えるんですけど、不安の方が強くて。

必要があるとはいへ、ほのぼのはすごいですねえ。今度、見に行きたい。

自治体行動で宣伝

松沢 岩波書店からの情報で知ったのですが、ほのぼのは、真っ先にブックレットを50冊買ってくれたそうです

ね。岡元 はい。たくさん読んでもらいましたし、自治体行動で鹿児島県の全自治体を回りきり、労働、まちづくり、子育ての担当課を中心に労協新聞、岩波ブックレットと協同総研ガイドブックのチラシ、法解説の冊子を配りきりました。（離島は郵送）松沢 すごい。みんなもぜひ。



岡元ルミ子さん
現在、九州事業本部
副本部長

鹿児島・国分地域福祉事業所ほのぼの 岡元ルミ子さん

なぜ次々に仕事おこし、「必要だからです」

つぶして唐揚げに

松沢 鹿児島・国分ほのぼののところだけは、取材した文章にせず、労協連ホームペー

ジにあった岡元さんの文章を転載しました。子どもたちと接しながら、課題を見つけ、子どもたちの力を次々に引き出していく。あの感じは、毎日、子ど